

## 1. 富山県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	355,750,962	
	内訳	うち、国費相当額	177,875,481
		うち、地方負担相当額	177,875,481
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	2,103,814	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	22,080,282	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	333,670,680	(=①+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	166,835,340
		うち、地方負担相当額	166,835,340
		うち、負担附寄附金等	0

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧		基金残高	333,670,680	
⑨		事業費 (次年度から終了年度までの見込額)	333,670,680	
⑩		保有割合	1.000	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)  
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

## 3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	14,773,649	2,103,814	12,669,835	個票1~10	33.6%	16,017,000	161,503,448
2	生活環境の保全	0	0	0			3,694,000	99,052,453
3	自然環境の保全	9,410,447	0	9,410,447	個票11~12	28.5%	13,209,000	73,114,779
合 計		24,184,096	2,103,814	22,080,282			32,920,000	333,670,680

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	①海岸漂着物発生源の認知度向上 ②世帯当たりのエネルギー消費量の削減 ③環境学習・啓発イベント等の参加者数累計の増 ④自然保護に取り組む活動者数の増 ⑤県民の環境保全意識の向上
成果実績	①海岸漂着物発生源の認知度 41.4% ②世帯当たりのエネルギー消費量削減率 29.8% ③イベント参加者数累計 2,961人 ④自然保護活動者数累計 2,953人 ⑤エコライフ実践に関するアンケートへの肯定的な回答割合 100% (令和元年度達成)
目標値	①海岸漂着物発生源の認知度 60% ②世帯当たりのエネルギー消費量削減率 28% ③イベント参加者数累計 25,000人 ④自然保護活動者数累計 3,400人 ⑤エコライフの実践に関するアンケートへの肯定的な回答割合 100%
達成度	74%

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	エコライフ・イベント事業	開始年度	平成18年度
担当部署	富山県生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

日常生活の中らごみや二酸化炭素等の排出を極力抑制する取組みを促進するため、エコライフ・イベントを実施し、循環型社会・低炭素社会の構築に向けての意識啓発を行う。

## 【目標】

- ①実施年度の目標：イベント参加者数 26,000人/年
- ②最終年度の目標：イベント参加者数（累計） 260,000人

## 2. 概要

エコライフスタイルへの転換について、各地域での取組みを推進するため、県内10市において消費者団体、婦人会、環境保健衛生協議会等と連携協力してエコライフ・イベントを開催する。（イベント実施に係る費用補助）

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

県内8市

4月～翌年3月

- ・地球環境教室
- ・環境フェア（日用品を使った手作りパズル、COOL CHOICEメッセージ、コミュニティバスの展示、環境事業紹介のパネル展示）、キッズライツフェス（SDGs木製プレート制作、SDGs未来都市ロールバナー制作）
- ・「食べきり3015」啓発用コースター作成
- ・手作りマスクコンテストや環境関連のぬりえ・ポスターの募集・展示・コンクール 等

参加人数計1,339人（各市コロナ対策としてイベントを中止や縮小したために、参加人数が昨年より大幅減となったもの）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	環境保全活動・環境教育に関する相談室事業	開始年度	平成20年度
担当部署	富山県生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

今日の環境問題の多くは、県民の日常生活や事業者の事業活動に起因しており、その解決には、行政のみならず、県民、事業者が連携しながら、それぞれの立場で自主的かつ積極的に環境保全・環境教育に関する活動に取り組む必要がある。このため、県民や事業者、市町村等による環境保全・環境教育に関する活動を促進するため、県民等の自主的な活動への支援や相談への対応、情報提供を実施する。

## 【目標】

- ①実施年度の目標：「はじめてのエコライフ教室」参加幼児・保護者数 400人/年
- ②最終年度の目標：「はじめてのエコライフ教室」参加幼児・保護者数（累計） 4,000人

## 2. 概要

環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、環境保全相談室を設置し、相談への対応、情報提供、活動支援等を行う。

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

- ・はじめてのエコライフ教室の開催  
実施幼稚園・保育所 7か所、参加園児206名
- ・環境保全相談室の設置  
相談件数126件
- ・出前講座の開催  
利用件数 5件、利用者数146名
- ・こどもエコクラブの育成

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	とやま環境フェア開催事業	開始年度	平成10年度
担当部署	生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、本県の優れた取組事例を含めた、エコライフの実践事例を楽しみながら見聞・体感し、エコライフの実践拡大を目的とする。

## 【目標】

- ①実施年度の目標 とやま環境フェアへの参加人数 1万人  
 ②最終年度の目標 とやま環境フェアへの参加人数（累計） 10万人

## 2. 概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、事業者や民間団体、行政機関等と連携し、県民へエコライフの普及・啓発を行うイベント「とやま環境フェア」をウェブサイト上で開催する。

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

○「とやま環境フェア2020」の開催（Web上での開催）

- (1)日程 令和2年12月1日～令和3年1月11日  
 (2)対象 一般県民等 約11,443人  
 (3)場所 環境フェアウェブサイト上  
 (4)内容

- ・団体・企業等による展示等 WEB上のブース出展  
 （地球温暖化対策、エコライフ、3Rへの取組み紹介、食ロス削減、SDGs達成に向けた取組等）
- ・特設イベントページの開設  
 （キャラクターによるエコ活動実践動画、著名人による環境先端県とやまPR動画、県主催のSDGsセミナー動画 等）
- ・ニューエコライフアイデア実践コンテストの実施（事前に応募があったエコライフアイデアへの投票）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	環境とやま県民会議運営事業	開始年度	平成19年度
担当部署	生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

循環型社会や低炭素社会の構築を目指し、県民、事業者、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフを推進するため、環境とやま県民会議を組織し、各事業を実施。

## 【目標】

- ①実施年度の目標 総会及びごみゼロ推進県民大会参加者数 300名  
 ②最終年度の目標 総会及びごみゼロ推進県民大会参加者数（累計） 3,000名

## 2. 概要

県民・事業者団体、報道機関、行政機関から構成される環境とやま県民会議を組織し、構成団体への情報提供や活動支援、エコライフの実践に功績があった者への表彰などを通して、県民総ぐるみでのエコライフの実践を推進する。

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

- 1 総会の開催（年1回）
  - (1)対象 構成団体、一般県民等 約115名
  - (2)時期 6月9日
  - (3)内容 県民会議の活動方針や事業計画を構成団体に示すとともに県民等に周知を図った。
- 2 ごみゼロ推進県民大会の開催（年1回）（とやま環境フェア2020ウェブサイト動画掲載）
  - (1)対象 一般県民、構成団体等 205名（閲覧数）
  - (2)時期 令和2年12月1日～令和3年1月11日
  - (3)内容 3Rの推進や地球温暖化対策の推進で功績があり、表彰された功労者の功績紹介、ごみゼロ推進運動の実施状況の報告
- 3 環境とやま県民会議会長表彰の実施  
 エコライフの推進に功績があった者に対し会長表彰を行った。  
 （地球温暖化対策や3R等の活動に取り組む者を対象とし、環境部門功労表彰（知事表彰）に比べ功績が小さい者（活動年数が短い者など）を表彰するもの。）
- 4 幹事会の開催（年2回）  
 活動方針や事業計画、会長表彰候補者等について検討を行った。
- 5 県民への普及啓発  
 総会やごみゼロ推進県民大会の実施結果、環境とやま県民会議会長表彰受賞者の功績をHPや広報誌に記載し、県民への普及啓発を図った。

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化防止活動推進センター支援事業	開始年度	平成12年度
担当部署	生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 県内における地球温暖化防止に関する広報・啓発、活動支援、相談助言等を実施する「富山県地球温暖化防止活動推進センター」の事業支援を行う。</p> <p><b>【目標】</b> ①実施年度の目標：富山県地球温暖化防止活動推進員の人数 90人 ②最終年度の目標：富山県地球温暖化防止活動推進員の人数 100人</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2. 概要

（公財）とやま環境財団が「富山県地球温暖化防止活動推進センター」として、県内における地球温暖化防止に関する広報・啓発、活動支援、相談助言等の活動をするための事業支援を行う。
----------------------------------------------------------------------------------------

## 3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律第38条 （地域地球温暖化防止活動推進センターの指定）
------------------------------------------------

## 4. 実施内容等

<p>1 地球温暖化防止活動推進員の活動支援</p> <p>（1）推進員を対象とした動画視聴の研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴後、研修会レポート提出。（2月24日～3月12日 参加者数約60人）</li> <li>・動画内容 とやま環境チャレンジ10（動画2本）、はじめてのエコライフ教室（動画4本）</li> </ul> <p>（2）地球温暖化に関する情報の提供、相談対応等や活動に役立つ普及啓発用のパンフレット配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア保険の加入 87人</li> <li>・活動費（謝礼）の支給 49人</li> </ul> <p>2 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止に向け、富山県地球温暖化防止活動推進センター内に「地球温暖化防止活動アドバイザー」2名を設置し、温室効果ガス排出削減に向け、企業・団体・推進員・県民からの照会・相談業務に対応するとともに、幅広く助言を行う体制を構築。</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>（1）（一社）地球温暖化防止全国ネット主催会議等への参加（10回）</p> <p>（2）環境関連イベントへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、環境関連イベントに展示ブースを設置し、パネルや省エネ機器等を展示することにより、地球温暖化防止の普及啓発活動を実施。（とやま環境フェア）</li> <li>・富山県地球温暖化防止活動推進員の人数 87人（令和2年4月委嘱：任期2年）</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・環境保全活動協働事業	開始年度	平成30年度
担当部署	生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

【目的】環境教育や環境保全活動に取り組む企業、民間団体等などの情報交換・ネットワーク化を図り、協働での取り組みを推進する。

【目標】①実施年度の目標：協働取組のマッチング件数 3件  
②10年後の目標：協働取組のマッチング件数（累計） 30件

## 2. 概要

富山県環境教育等行動計画（H29.3策定）において、環境保全活動の普及啓発及び人材・教材などに関する情報の収集・提供を総合的に行う中核拠点として位置づけられた（公財）とやま環境財団が実施する事業に補助する。

## 3. 根拠法令等

富山県環境教育等行動計画

## 4. 実施内容等

## (1) 協働ネットワークの構築・交流の促進・協働活動への支援

- ・ 協働取組みを検討している関係機関のマッチング2件
- ・ 協働活動の企画・調整（コーディネート）
- ・ 環境保全活動に取り組む団体等の情報収集、掘起こし
- ・ 見学受入可能な事業所等の情報収集、掘起こし
- ・ 講師等の派遣

## (2) 循環型社会・低炭素社会づくりに向けた環境教育の推進

- ・ 環境出前講座の実施  
（①7月7日 28名、②8月2日 31名、③9月5日 11名、④9月9日・16日・29日 61名、⑤1月20日 15名）
- ・ エコドライブ体験会支援（実績なし）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	とやま環境未来チャレンジ事業	開始年度	平成30年度
担当部署	生活環境文化部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

家庭における環境配慮行動の実践を促進するため、小学生を対象に地球温暖化や3R、食品ロスなどの環境問題に関する学習プログラムを実施する。

## 【目標】

- ①実施年度の目標 学習プログラム参加人数 3,000人  
 ②最終年度の目標 学習プログラム参加人数（累計） 2.7万人

## 2. 概要

## (1) とやま環境チャレンジ10

県内の10歳の児童（小学校4年生）が、地球温暖化や3R、食品ロス等の環境問題について学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取り組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルを啓発し、家庭における地球温暖化対策の推進を図るもの。

## (2) 環境授業の効果の普及啓発

これまでの取り組みの効果や優れた取り組みについてとりまとめ、環境イベント等の機会をとらえて県民への普及啓発を行うもの。

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

## (1) とやま環境チャレンジ10

- ・小学校（63校、児童数2,710人）での環境授業等の実施
- ・地球温暖化防止普及啓発教材等の作成及び配布
  - ①とやま環境チャレンジ10の副読本9,100部を県内小学4年生の全児童に配布
  - ②その他とやま環境チャレンジ10用の教材等一式3,600部をチャレンジ10参加者に配布
- ・前年度に養成した新規推進員の資質向上を目的とした講座の開催
- ・実施小学校へのアンケートの実施
- ・活動報告書の作成及びHP等での公表

## (2) 食品ロスゼロチャレンジ

- ・希望校へ授業に活用できる食品ロスに関する啓発資料を提供（県内小学校52校に計3,637部配布）



## 令和2年度 事業報告書

事業名	循環型社会・低炭素社会づくりの推進	新規・継続区分	新規
事項名	環境教育拠点事業	開始年度	令和2年度
担当部署	富山県環境科学センター	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

持続可能な社会づくりに向け、富山県の環境問題（気候変動、プラスチックごみ、海岸漂着物、大気・水質など）について、展示や実験を通じて「見て・触れて・学ぶ」ことにより、幅広い世代が環境について関心を持ち、自ら課題解決や実践活動に取り組む人材を育成する。

## 【目標】

- ①実施年度の目標 見学・体験者数 1,000人（令和2年度は500人）  
 ②最終年度の目標 見学・体験者数（累計） 7,500人

## 2. 概要

環境部門の試験研究機関である県環境科学センター内に、気軽に環境について学べる展示、実験・体験コーナーなどの展示スペースを設け、環境教育を実施する。

（場所：富山県射水市中太閤山17-1）

※ 富山県気候変動適応センターの設置に併せて整備

## 3. 根拠法令等

環境教育等促進法  
 富山県環境教育等行動計画

## 4. 実施内容等

## 1 整備内容

環境科学センターの講堂を改装し、環境教育拠点施設として「環境楽習室（がくしゅうしつ）エコ・ラボとやま」を整備した。

併せて、来場者が環境について「見て」「ふれて」「学ぶ」ことができる展示や実験・体験、情報・映像の各コーナーを設けた。

- ① 展示コーナー：環境・公害・地球温暖化に関するパネルやサンプル等を展示  
 ② 実験・体験コーナー：センター職員が講師となり、来場者が環境に関する科学実験を体験  
 ③ 情報・映像コーナー：環境に関するクイズや映像コンテンツによる学習

## 2 対象

子供から大人まで（令和2年度の見学・体験者数（実績）361人）

## 3 開設時期

- ・オープン 令和2年10月1日から  
 ・公開時間 平日9:00～16:30（地域住民も気軽に見学できるよう平日は年中開放）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	自然環境の保全	新規・継続区分	継続
事項名	ナチュラリスト活動事業	開始年度	昭和49年度
担当部署	生活環境文化部自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 自然公園等を訪れる利用者に自然への理解と愛情を深めてもらい、自然保護の重要性を認識してもらうため、富山県自然解説員（ナチュラリスト）の養成・配置を行う。</p> <p><b>【目標】</b> ①実施年度の目標 新規ナチュラリストの養成 50名 ②最終年度の目標 新規ナチュラリスト及びジュニアナチュラリストの認定者数（累計） 300名</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2. 概要

富山県の自然について解説することのできるナチュラリスト、ジュニアナチュラリストを定期的に養成するとともに、自然公園等にナチュラリストを配置し、地域住民等の公園利用者に自然保護意識の普及・啓発を行う。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3. 根拠法令等

なし
----

## 4. 実施内容等

<p>1 ナチュラリスト活動業務 4月下旬～11月上旬にかけて、立山を始めとした自然公園等に配置し、利用者へ自然保護意識の普及・啓発を行う。 (4月～6月は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった)</p> <p>2 ナチュラリスト養成 自然保護思想の普及啓発を目的に、富山県自然保護講座（ナチュラリスト養成講座）を開催し、ナチュラリストの計画的養成を図る。 (令和2年度認定者数：51名)</p> <p>3 黒部峡谷ナチュラリスト活動事業費補助 自然保護意識の普及を目的とし、樺平ビジターセンターの来館者等へ自然解説活動を実施するための解説員の配置に係る費用の補助を行う。 (5月～6月は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 令和2年度 事業報告書

事業名	自然環境の保全	新規・継続区分	継続
事項名	ライチョウ王国とやま発信事業	開始年度	平成30年度
担当部署	生活環境文化部自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

ライチョウ保護活動や保護の重要性の発信を県民と協働で行う。

## 【目標】

- ①実施年度の目標 とやまのライチョウサポート隊員数 100人  
 ②最終年度の目標 ライチョウ保護柵設置の認知度 向上（H27県政モニターアンケート26.6%）

## 2. 概要

- ・ライチョウは国の特別天然記念物であり、本県の県鳥でもある。
- ・ライチョウの生息数はS50年代は3,000羽と推定されたものがH20年代には2,000羽に減少し、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類とされている。
- ・本県はライチョウの国内最大の生息地であり、高い頻度でライチョウと出会うことができる「ライチョウ王国」である。
- ・本県のライチョウは生息数調査を開始したS40年代から現在まで安定的に生息している。
- ・県民と協働でライチョウ保護活動などを行うとともに、ライチョウ保護の重要性を全国に伝える。

## 3. 根拠法令等

なし

## 4. 実施内容等

R2.5.22	上野動物園HPにてライチョウ保護活動を紹介	
R2.7.12	第5次とやまのライチョウサポート隊認定講習会	参加者34名（新規36名、経験者59名認定）
R2.12.13	第5次とやまのライチョウサポート隊活動報告会	参加者31名